

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		担当部課	部課コード	060400	2998-9120
事業コード	生活管理指導短期宿泊事業	高年齢者支援課			
060408					
開始年度	平成 15 年度	終了年度	年度	グループ	
		高年齢者支援グループ			

事業の概要	事業の種類別	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加			根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市高年齢者福祉計画・介護保険事業計画			所沢市高年齢者生活管理指導短期宿泊事業実施要綱
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 高年齢者福祉	基本方針	介護予防体制の充実
事業開始の背景	平成12年度から「介護予防・生活支援事業」として位置づけられた事業である。地域の実情に応じて行う介護保険外の保健福祉サービスで、緊急を要する高齢者の生活をまもることを目的としている。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	高齢者等が何らかの理由で一時的な保護が必要な場合及び高齢者の世話をしている者が病気等の理由で世話をすることが困難な場合において、緊急避難的に養護老人ホームに入所することにより、自立した生活を維持し高齢者の基本的な生活習慣の確立を図ることを目的としている。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	83,420 人
	市内に住所を有する65歳以上の者。			平成 27 年度	86,273 人
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>利用期間を連続7日以内とし、「老人ホーム亀鶴園」において実施する。 原則、介護認定を受けていない高齢者を対象とする。 事業を利用する者は、健康診断書を添付のうえ申請する。 利用者は日額1,150円の負担が必要となるが、生活保護受給者は免除となる。</p>				

会計種別	一般会計 (H28 ~)	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
予算現額		2,016	2,688	2,688
決算 (見込み含む)		1,824	904	
(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人) (人)	(人) (人)	(人) (人)	
正規職員人件費	0.38 人	3,314	0.35 人	3,031
事業費合計		5,138	3,935	
財源内訳	一般財源	3,314	3,031	2,688
	国・県支出金	609	314	
	その他 ()	1,215	590	

「財源内訳」について
平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
				活動実績	利用日数	利用実日数	日
	受入可能日数		日	252	336	336	336

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
				成果指標	実施率	利用日数/受入可能日数 × 100	%
				実績 90	34	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率 302	112	どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	厚生労働省において、地域支援事業の任意事業の取扱いの見直しを行い、本事業が任意事業の対象外となったことから、平成28年度予算から一般会計への組替えを行った。	-

評価	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	事業実施方法 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	虐待等による理由で一時的な保護が必要な場合に利用するものであり、家族の支援や介護サービスなどが優先されるべきであるため
	次年度予算 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	高齢者人口が増加傾向にある中、虐待等により一時的な保護が必要な高齢者や高齢者の世話が困難な擁護者が増加することが予測されるため	
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
	緊急避難的に利用する制度である為、引き続き適切な運用を目指す。		高齢者の増加に伴い、虐待等の事由により一時的な保護が必要な高齢者が増加することは予測されることから、今後も当該事業の必要性は高いと思われる。	
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	高年齢者支援課長 池田 隆人	

環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	廃棄物の排出	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無